※ 点線内を切り取ってファイルの表紙に貼り付けること。

（剥がれないように注意すること）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 2021年度「公立学校インターンシップ（ａ）―教育課題研究実地演習―」演習ノート

|  |  |
| --- | --- |
| 演習校 |  |
| 学籍番号 |  |
| 専攻 |  専　攻　 |
| 氏名 |  |

京都教育大学実地教育運営委員会 |

目　　　次

１．　公立学校インターンシップ（ａ）－教育課題研究実地演習－を受講するあなたへ

２．　「公立学校インターンシップ（ａ）－教育課題研究実地演習－」実施要項

３．　演習ノートの使用について

４．　演習にあたって

５．　受講心得

６．　自己紹介カード（自身で作成したものを綴じ込む）

７．　演習校について

８．　演習実施計画書

９．　授業日程表

１０．月間行事予定・時間割等について（授業期間中の演習校の行事予定等を綴ること）

１１．オリエンテーションⅠの記録

１２．オリエンテーションⅡの記録

１３．演習（前半）の記録（必要に応じて増し刷りすること）

１４．中間の振り返りに向けて

１５．中間の振り返りの記録

１６．演習（後半）の記録（必要に応じて増し刷りすること）

１７．演習の振り返りと交流会の記録

１８．研究成果発表会の記録

１９．連絡先一覧（オリエンテーションⅠで配布する）

２０．資料（その他、実習校から配付された資料などがあれば綴じ込むこと）

１．公立学校インターンシップ（ａ）－教育課題研究実地演習－を受講するあなたへ

　学校の教育活動は、教科指導や学級経営を中心に、道徳、特別活動、生徒指導、総合的な学習の時間など多様な内容や方法で構成されています。それぞれの教育活動にはもちろん固有のねらいや機能がありますが、しかし、それらは単独かつ個々に独立して働くのではなく、相互に関連しあい補完しあいながら結果として一体となって機能しています。人の育ちや変化・成長に関わる教育という営みは、総合性の高いものです。とりわけ、初等教育においては子どもの発達段階からみてこの点は重要であり、一人の教員が多種、多様な教育活動や校務を担うシステムをとる優位性はここにあります。

　一方、今日の学校教育の場には多くの教育課題があり、それらに対し様々な取組がなされていますが、そこでは一人ひとりの教員が創意工夫するだけでなく、学校としての組織的な取組が必要であるとされています。学級という枠を越えた学校としての取組、教職員集団の協同が求められています。優れた実践によって教育成果を上げている学校はいずれも、個々の教員の努力を学校として組織化し、より大きな力に高めていくという点で力を注いでいます。

　今回、あなたは実地教育の基本である教育実習を既に終えられ、より実践的な実地教育の機会としてこの演習に取り組まれます。この演習では二つのことをあなたに期待しています。一つは、教科指導や学級経営の指導技術の習得に留まらず、教育の総合性とりわけ教員の職務の総合性と教職員の協働という点を具体的な活動を通じて是非、学んでほしいと思います。個々の教育活動に対して、それのみを単独で評価するのではなく、絶えず全体の関連性や文脈の中で考え、判断する力を培っていただきたいと願っています。今一つは、これらの総合性を学ぶために、あなた自身の確かな問題意識を持っていただきたいということです。総合性というのはただ漫然と眺めていたのでは見えてきません。一つの事実や切り口を起点に、他との関連性を探ったり、多様な視点から考察したりすることによってその全体像や総合性が浮かびあがってきます。

　この「公立学校インターンシップ（ａ）－教育課題研究実地演習－」は、京都府教育委員会を中心に多くの方々のご理解とご協力によって実施に至ることができました。特に演習校の校長先生を始めとする教職員の皆さんの「教職をめざすあなたの熱意を支援しよう」という温かい思いがこの授業の根底に流れています。是非、この思いに応えられるよう、あなたが謙虚で積極的な姿勢で演習に臨み、成果を挙げられることを期待しています。

　また、それらの成果があなたの個人的な財産となるだけでなく、本学で教職をめざす多くの学友の共有財産にもなるよう、その成果を広く伝えていただく努力をされることを期待しています。

実地教育運営委員会

２．**「公立学校インターンシップ（ａ）―教育課題研究実地演習―」**

**実施要項**

京都教育大学　実地教育運営委員会

**１．授業科目名**　公立学校インターンシップ（ａ）―教育課題研究実地演習―

**２．学年・期間・単位数**　３回生以上及び大学院生　後期　２単位

**３．科目区分**　　　教育課題対応科目

**４．授業担当者**　　実地教育運営委員会、演習校専任指導教員

**５．授業の到達目標**

（１） 演習を通じて、学校教育における今日的課題や教職の実際について、実践的かつ総合的に理解できる。

（２） 演習を通じて、学校教育における今日的課題や教職の実際についての実践力を高める。

（３） 教員の学校組織における役割分担や保護者・地域との連携のあり方等について実践的に学び取る。

（４） 演習をふりかえり自身の成果をまとめ、発表・交流することで自己省察能力とコミュニケーション能力を高める。

**６．授業の概要**

（１） 授業は、京都府内の小・中・高・特別支援学校での演習が基本となり、学校現場での演習を通して理論と実践を結び付け、実践的指導力を身に付けることをねらいとしている。

（２） 演習内容と演習日程は演習校、演習生、大学の三者で協議し決定する。

（３） 演習はテーマに沿って、演習校教員の指導・監督のもとで行う。

（４） 演習期間中は大学担当教員へ連絡をとり、成果報告と指導の機会を設ける。

（５） 演習期間後に、演習校で研究成果報告会を実施する。

**７．授業計画**

演習校での活動は１回１日を基本とし、小学校５校、中学校３校、高等学校３校、特別支援学校１校に分かれて実施する。演習校では研究テーマに沿って、専任指導教員の指導・監督のもと10回以上の演習を行う。

１回＝１日とし、やむを得ず半日の演習となる場合は０．５日分とみなす。

1. 大学でのオリエンテーション（オリエンテーションⅠ）

［10月６日(水)３、４限］

オリエンテーションⅡの実施日時、演習校での中間振り返りの実施日時、研究成果発表会の実施日時、演習の実施の詳細、実施日の調整、指導教員参観日を、演習校の担当教員と学生、本学担当教員の三者で打ち合わせる。

1. 演習校でのオリエンテーション（オリエンテーションⅡ）

［10月13日（水）※（１）の際に演習校の担当教員と学生、本学担当教員の三者で調整の結果、変更の可能性あり］

（３） 演習校での活動　（前半５回）

（４） 演習校での中間振り返り

［11月中旬～12月中旬を目途に（１）の際に調整］

（５）演習校での活動（後半５回）

（６）大学での演習振り返り交流会　［２月２日(水)３、４限］

（７）演習校での研究成果報告会　［２月上旬～中旬］

**８．テキスト・参考書**

　テキスト：「演習ノート」（実地教育運営委員会作成）及び必要に応じて配布する資料等。演習校で配布される資料等は各自で活用すること。

参考書 ：学習指導要領、生徒指導提要

**９．形式**

演習、講義、発表会

**１０．評価の方法**

「演習ノート」及び発表レポートを考慮し、「演習ノート」の記入状況、演習の報告書、事後指導での発表を基に評定する。

**１１．本授業科目に関する情報**

　（１）受講要件　 受講要件については、以下の条件を満たすものとする。

　　　　　　　　 ＊主免・基礎免実習を終えた者で、小・中・高・特別支援学校のいずれかの教員を志望する者

　　　　　　　　 ＊10回の演習に必ず参加できる者

　　　　　　　　 ＊学生教育研究災害傷害保険に加入している者（大学で加入）

（２）受講人数　 演習校１校当たり10名程度を限度とし、全体で約100名とする。希望者が定員を上回った場合には選考を行い、受講生を決定する。

　（３）演 習 校　 長岡京市立長岡第九小学校、宇治市立宇治小学校、城陽市立久津川小学校、八幡市立くすのき小学校、亀岡市立大井小学校、宇治市立宇治中学校、宇治市立東宇治中学校、城陽市立城陽中学校、京都府立山城高等学校、京都府立鴨沂高等学校、京都府立洛東高等学校、京都府立宇治支援学校

　（４）経　　費　 演習等にかかる交通費等の諸経費は受講生の負担とする。

　　（５）そ の 他　　本授業は、京都府教育委員会と連携して行う「教員養成サポートセミナー」である。

３．演習ノートの使用について

１．このノートは、「公立学校インターンシップ（ａ）－教育課題研究実地演習－」に関して、オリエンテーションや演習校での活動、中間や演習後の振り返り等を記録し、また、演習中の資料等を綴ることで、この授業での学びをより充実したものするためのものです。

1. 授業で作成した書類や記録、資料等は、すべてこのノートにファイルしておいて下さい。ファイルに際しては、必要に応じてコピーでもかまいません。
2. このノートは、授業終了後、実地教育運営委員会に提出して下さい。実地教育運営委員会では、演習の内容をもとに評価（単位の認定）を行います。なお、評価終了後にこのノートは返却します。
3. 演習の記録は様式例として示しています。これを必要に応じてコピーして

使用して下さい。なお、この様式に従ってパソコンで記録を作成しても差し支えありません。

1. 授業（演習）期間中はこのノートを携行し、必要に応じて活用して下さい。

４．演習にあたって

１．この授業は、演習校の校長先生をはじめとする教職員の方々のこの授業への理解と皆さんの教職への熱意を支援しようという温かい思いによって実施されるものです。このことを常に念頭におき、感謝の気持ちを持って授業に臨みましょう。

２．演習校はいずれも優れた教育実践で実績のある学校で、京都府の教育課題を基本に据えながらも、今日的、全国的な課題をも視野に入れつつ実践に取り組んでおられます。それぞれの学校での取組を謙虚、且つ積極的に学びましょう。

1. 演習の心得は、教育実習での心得を基本としますが、今回の演習では学校の教育活動に深く関わる機会が多くなります。演習校の教育方針等をよく理解して演習に臨みましょう。
2. 授業（演習）を充実したものにするためには、研究テーマを明確にもって、積極的に活動をすることが求められます。多様な指導機会や場面に進んで参加しましょう。但し、児童・生徒の指導の責任者は演習校の先生方です。判断がつかないことや疑問に思ったことは自分で勝手に判断せず、担当の先生に尋ね、その指示に従いましょう。

５．受講心得

　この授業に参加する学生の皆さんは、授業（特に学校での実地演習）にあたっては、「教育実習での心得」を踏まえた上で、以下の心得と具体的注意事項を遵守してください。

　＜　心　得　＞

1. 憲法と教育基本法を尊重し擁護する立場であること。
2. 政治教育その他政治的活動や、宗教教育その他宗教的活動を行わないこと。
3. 子どもの人権を尊重すること。体罰を加えてはならないこと。
4. 暴力を肯定するような指導をしたり、特定の考え方を一方的に押し付けたりするなど、児童・生徒の健全な発達を阻害するような言動をとらないこと。
5. 授業中に知り得た児童・生徒に関する情報等を、インターネットを介しての公開も含み、絶対に外部に漏らしてはならないこと。
6. 学校長や担当者の指示に従い、学校の服務規程・規則・規律を守ること。

　＜　注意事項　＞

1. 社会人としてのルールを守ること。

（時間の厳守、挨拶、返事、報告、言葉遣い、服装、頭髪等）

1. 活動の開始・活動終了は、学校長（担当教員）の承認（報告）を得ること。
2. 各学校における教育目標を理解するとともに、各学年・学級等での教育方針を理解し、取組の支援をすること。
3. 担当教員と連携し、児童・生徒の実態を把握して接すること。
4. 児童・生徒の安全確保を第一に行動すること。
5. 活動については、担当教員と十分に打ち合わせをすること。
6. 終了後には担当教員とその日の活動について成果や課題等を確認すること。
7. 健康管理を心掛けること。
8. 手洗い・うがい、手指の消毒を習慣化し、ウイルスを体に取り入れないように留意する。
9. マスクの着用を徹底し、人の密集する場所・場面は避ける。
10. 朝、各自で健康チェックを行い、感染症の疑い※があるときは演習校の担当教員に連絡の上、演習を自粛するとともに医療機関で診察を受けること。
11. 感染症と診断された場合は演習校及び教務課に連絡をし、今後の指示を仰ぐこと。

　※発熱、鼻汁、のどの痛み、咳、倦怠感、下痢・嘔吐、筋・関節の痛み、結膜炎、

頭痛、味覚または嗅覚の消失、皮膚の発疹、または手足の指の変色などの症状のいずれかがある場合。

自己紹介カード

年　　月　　日　現在

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ふ　り　が　な |  | 生 年 月 日 |
| 氏　　名 |  | 　　　　年　　月　　日 |
| 現 住 所 | （〒 —　　　） |
| 電話番号 | 携帯・自宅 |
| 学　　歴 | 中学校　　　　年　　月卒業 |
| 高等学校　　　　年　　月卒業 |
| 京都教育大学　教育学部・大学院 　　年　　月卒業・修了見込み |
| 所属・専攻・学年 | 　　　　　　　　　　専攻・専修 | 回生 |
| 取得（見込み）免許状の種類等 | 小学校　種（取得・取得見込み）中学校　種　　科（取得・取得見込み）高校　種　　科（取得・取得見込み）特支学校　種（取得・取得見込み）幼稚園　種　（取得・取得見込み）司書教諭　（取得・取得見込み） |
| 得意分野・特技部活動等 |  |
|  |
|  |
|  |
| 受講の目的研究テーマ等 |  |
|  |
|  |
|  |
|  |
| 卒業後の進路希望 |  |
|  |
|  |
|  |
| そ　の　他 | 携帯メールアドレス：大学メールアドレス： |

（受講生へ）必要事項記載のうえ、オリエンテーションⅠに持参し、受付で提出すること。その後返却されたらノートに綴じ込んでください。

演習日程希望調査票

　希望の曜日（午前・午後・一日）を記入して、演習日程を調整してください。

演習校名　　　　　　　　　府・市立　　　　　　　学校

演習生名（専攻）

　第１希望に①、第２希望に②、第３希望に③を記入してください。

　その他、特別な事情などがあれば、備考欄に記入してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
| 午前 |  |  |  |  |  |
| 午後 |  |  |  |  |  |
| 一日 |  |  |  |  |  |
| 備考 |  |  |  |  |  |

**（受講生へ）必要事項を記載のうえ、３部コピーし、10月６日（水）の**

**オリエンテーションⅠに持参すること。**

**実習校の教員と本学の担当教員に、４時限に１部ずつ渡してください。**

**もう１部はノートに綴じ込んでください。**

７．演習校について

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学　校　名 |  | 電話番号 |  |
| 所　在　地 | (〒　　　－　　　　) |
| 学校長名 |  |  |  |
| 教頭名 |  | 教務主任名 |  |
| 演習担当者名 |  | 演習担当者名 |  |

（学校要覧等、演習校に関する資料があれば、以下に綴じておくこと）

８．演習実施計画書

**（写しを教務課⑥番窓口に提出すること。提出期限はオリエンテーションⅡより一週間後とする。）**

|  |  |
| --- | --- |
| 演　習　校　名 |  |
| 演　習　生　名 |  |
| 研 究 テ ー マ |  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
| 演習形態・方法 |  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
| 演　習　日　程 | 演習期間（　　　　年　　月　　日～ 　　　 年 　月　　日）基本演習日（　　　曜日午前・午後・一日）演習日　　　月　　日（　）午前・午後（　　　　　～　　　　　）　　　月　　日（　）午前・午後（　　　　　～　　　　　）　　　月　　日（　）午前・午後（　　　　　～　　　　　）　　　月　　日（　）午前・午後（　　　　　～　　　　　）　　　月　　日（　）午前・午後（　　　　　～　　　　　）　　　月　　日（　）午前・午後（　　　　　～　　　　　）　　　月　　日（　）午前・午後（　　　　　～　　　　　）　　　月　　日（　）午前・午後（　　　　　～　　　　　）　　　月　　日（　）午前・午後（　　　　　～　　　　　）月　　日（　）午前・午後（　　　　　～　　　　　） |
| 備　　　考 |  |

９．授業日程表

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 回数 | 授業内容 | 日 時 | 場　所 | 備　　考 |
| １ | 大学でのオリエンテーション並びに事前指導 | 10月６日（水）３・４限＜12:50～16:05＞ | 大講義室１※途中から各演習校に分かれてオリエンテーション |  |
| １ | 演習校でのオリエンテーション並びに事前指導 | 10月　　日（　）＜　　：　　～　　：　　＞ | 各演習校 |  |
| ５ | 演習（前半） | ＜演習計画書参照＞ | 各演習校 |  |
| １ | 中間の振り返り | 月　　日（　） | 各演習校 | 必ずしも前後半５回の演習の合間でなくてもよい |
| ５ | 演習（後半） | ＜演習計画書参照＞ | 各演習校 |  |
| １ | 演習の振り返りと交流会 | ２月２日（水）３・４限＜12:50～16:05＞ | 学内(予定) | 合同でグループ討議形式 |
| １ | 研究成果発表会 | 月　　日（　）＜　　：　　～　　：　　＞ | 各演習校 |  |

１０．月間行事予定・時間割等について

演習期間中の月間行事予定・時間割など必要に応じて綴じ込むこと

１１．オリエンテーションⅠの記録　　10月６日（水）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

１２．オリエンテーションⅡの記録　　10月＿＿日（＿＿）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 教科等 | 学年・組 | 学習・活動内容 | 学生の活動内容 |
| 朝学活 |  |  |  |
| １ |  |  |  |  |
| ２ |  |  |  |  |
| 中間休み |  |  |  |
| ３ |  |  |  |  |
| ４ |  |  |  |  |
| 給食昼休み清掃 |  |  |  |
| ５ |  |  |  |  |
| ６ |  |  |  |  |
| 終学活 |  |  |  |
| 放課後 |  |  |  |
| ◆メモ |

１３．演習（前半）の記録　（Ｎｏ．　）

月　　　日（　　）天候　　　 （演習時間　　　　～　　　　　）

（１.演習事項・内容　 ２.所感・振り返り等　 ３.指導教員からのコメント等）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

１４．中間の振り返りに向けて

「１．前半の取り組みと児童生徒の様子　２．考察　３．後半の目標」を以下にまとめ、中間振り返りに役立てて欲しい。

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

１５．中間の振り返りの記録

〔　　　月　　日（　　）　　　時　　分～　　　時　　分〕

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

１６．演習（後半）の記録　（Ｎｏ．　）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 教科等 | 学年・組 | 学習・活動内容 | 学生の活動内容 |
| 朝学活 |  |  |  |
| １ |  |  |  |  |
| ２ |  |  |  |  |
| 中間休み |  |  |  |
| ３ |  |  |  |  |
| ４ |  |  |  |  |
| 給食昼休み清掃 |  |  |  |
| ５ |  |  |  |  |
| ６ |  |  |  |  |
| 終学活 |  |  |  |
| 放課後 |  |  |  |
| ◆メモ |

　　　　　月　　　日（　　）天候　　　 （演習時間　　　　～　　　　　）

（１.演習事項・内容　 ２.所感・振り返り等　 ３.指導教員からのコメント等）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

１７．演習の振り返りと交流会の記録

〔２月２日（水）　12時50分～16時05分〕

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

１８．研究成果発表会の記録

〔　　　月　　日（　　）　　　時　　分～　　　時　　分〕

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |